

エンゴサク

確認試験の項を次のように改める。

確認試験 本品の粉末 2gにメタノール 10mLを加え、15 分間振り混ぜた後、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。別に薄層クロマトグラフィー用デヒドロコリダリン硝化物 1mgをメタノール 20mLに溶かし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフィー〈2.03〉により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 10 μ Lずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次にメタノール/酢酸アンモニウム溶液(3→10)/酢酸(100)混液(20 : 1 : 1)を展開溶媒として約 10cm展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線(主波長 365nm)を照射するとき、試料溶液から得た数個のスポットのうち 1 個のスポットは、標準溶液から得た黄緑色の蛍光を発するスポットと色調及び R_f 値が等しく、その下側に黄色の蛍光を発するスポットを認める。また、噴霧用ドラージェンドルフ試液を均等に噴霧し、風乾後、亜硝酸ナトリウム試液を均等に噴霧するとき、 R_f 値 0.6 付近に褐色のスポットを認める。

9. 41 試薬・試液の項に次を追加する。

デヒドロコリダリン硝化物, 薄層クロマトグラフィー用 $C_{22}H_{24}N_2O_7$ 黄色の結晶又は結晶性の粉末である。メタノールにやや溶けにくく、水, アセトニトリル又はエタノール(95)に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。
融点：約 240 $^{\circ}$ C(分解)。

純度試験 類縁物質 本品 5.0mg を水/メタノール混液(1 : 1)1mL に溶かし、試料溶液とする。この液 0.5mL を正確に量り、水/メタノール混液(1 : 1)を加えて正確に 50mL とし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフィー〈2.03〉により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 5 μ L ずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットし、速やかにメタノール/水/酢酸(100)混液(20 : 1 : 1)を展開溶媒として約 10cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線(主波長 365nm)を照射するとき、また、噴霧用ドラージェンドルフ試液を均等に噴霧するとき、試料溶液から得た主スポット以外のスポットは、標準溶液から得たスポットより濃くない。